

平成 18 年度 日本看護系大学協議会 役員会報告

第 1 回役員会

日時：平成 18 年 4 月 8 日(火) 13:00～17:00

場所：学士会館（神田錦町）307 号室

出席者：（役員）石垣、草間、稲垣、高橋、中山、井上、南、村嶋、中西、小西
（事務局）北池、吉本、眞島、黒田

欠席者：（役員）井部

【報告・審議事項】

- 1) 新役員の紹介（井上幹事、小西監事）
- 2) 平成 17 年度第 5 回役員会議事録確認
- 3) 平成 17 年度日本看護系大学協議会役員会報告確認
- 4) 平成 17 年度事業活動報告書 原稿の確認
- 5) 看護師基礎教育の検討経過について
- 6) 看護職の基礎教育のあり方に関する特別委員会（日本看護協会）への参加依頼について
- 7) 入会予定校について
- 8) 平成 18 年度事業活動計画と分掌者について

常設委員会

- (1) 専門看護師教育課程認定委員会
- (2) 高等教育行政対策委員会
- (3) ファカルティ・ディベロップメント委員会
- (4) 看護学教育研究倫理検討委員会
- (5) 広報・出版委員会

臨時委員会

- (6) 看護実践能力検討委員会
- (7) 看護管理コース教育検討委員会
- (8) 高度実践看護師制度推進委員会
- (9) 看護学教育評価機関検討委員会
- (10) 保健師教育検討委員会

新規臨時委員会

- (11) 助産師教育検討委員会

- 9) 平成 19 年度・20 年度新役員について
- 10) Global Alliance on Nursing Education(GANE)への参加について
- 11) 東アジアにおける大学院課程のネットワークへの JANPU としての参加、
役員の派遣について
- 12) 平成 18 年度予算案について
- 13) 平成 18 年度総会の運営について
- 14) 日本看護協会 市町村保健師団体連絡協議会設立記念行事への出席依頼について
- 15) 平成 18 年度役員会開催日程

第2回役員会

日 時：平成18年5月25日(木)18:30~21:30

場 所：千葉大学看護学部 セミナー室3

出席者：(役員)石垣、草間、稲垣、南、井上、前原、中西、小西、中山、村嶋
(事務局)真嶋、酒井、石井、石川

欠席者：(役員)井部

(敬称略)

【配布資料】

- 資料1：平成18年度日本看護系大学協議会 第1回役員会議事録(案)
- 資料2：平成18年度開設の看護系大学と入会校一覧
- 資料3：日本看護系大学協議会申し合わせ事項改正案
- 資料4：平成18年度事業活動計画書(案) 専門看護師教育課程認定委員会
- 資料5：平成18年度事業活動計画書(案) 高等教育行政対策委員会
- 資料6：平成18年度事業活動計画書(案) ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会
- 資料7：平成18年度事業活動計画書(案) 看護学教育研究倫理検討委員会
- 資料8：平成18年度事業活動計画書(案) 広報・出版委員会
- 資料9：平成18年度事業活動計画書(案) 看護実践能力検討委員会
- 資料10：平成18年度事業活動計画書(案) 看護管理コース教育検討委員会
- 資料11：平成18年度事業活動計画書(案) 高度実践看護師制度推進委員会
- 資料12：平成18年度事業活動計画書(案) 看護学教育評価機関検討委員会
- 資料13：平成18年度事業活動計画書(案) 保健師教育検討委員会
- 資料14：平成18年度事業活動計画書(案) 助産師教育検討委員会
- 資料15：日本看護系大学協議会 平成18年度予算(案)
- 資料16：平成18年度日本看護系大学協議会総会次第(案) 役割分担および進行(案)
- 資料17：平成18年度日本看護系大学協議会総会次第(案) 総会資料
- 資料18：日本看護系大学協議会 各委員会会計要領(案)

【報告・審議内容の概要】

1) 平成18年度第1回役員議事録案の確認(資料1)

以下の事項について報告・確認された。

- ✓ 専門看護師教育課程認定委員会委員長として井上幹事に、また小西監事が新役員として承認された。
- ✓ 新規臨時委員会で助産師教育検討委員会が発足し、前原幹事が委員長に決定した。
- ✓ FD委員会委員長の身分変更のため、高橋幹事から中西監事へ委員長交代が決定した。
- ✓ 平成19年度、20年度の新役員として、安酸史子氏に決定した。
- ✓ Global Alliance on Nursing Education(GAIN)への看護系大学協議会の参加が決定した。
- ✓ The East Asia Forum in Nursing Scholar(EAFONS)について、今後は日本看護系大学協議会から役員を選出する組織作りが提案された。
- ✓ 平成18年度の予算案の概略が承認された。
- ✓ 平成18年度総会の運営概略案が承認された。

また、現在用いている詳細な議事録のほかに、議事概要を作成し、次期役員会に引き継ぐ書類とすることが提案された。

2) 平成17年度事業活動報告書の報告(案)の確認(別添冊子)

3) 起草委員会(仮称)報告(案)の確認

4月16日(日)に起草委員会メンバーである石垣会長、草間副会長、中西監事、村嶋幹事に加え、小西監事と中山幹事が参加し、起草委員会が開催されたが、統一見解に至らず、今

年度中を目標として、日本看護系大学協議会としての見解を出すことが最終的に合意されたことが報告された。この報告に関して、役員会で討議の結果、以下の点が確認された。

- ✓ 日本看護系大学協議会としてのスタンスは『21世紀に向けての看護職の教育に関する声明』が基盤である。したがって、起草委員会では『21世紀に向けての看護職の教育に関する声明』をもとにして、日本看護系大学協議会のスタンスをアピールしていくかを起草していくこととする。この点を踏まえ、翌日の総会で報告する。
- ✓ 起草委員会メンバーを変更することとし、新たなメンバーとして石垣会長、小西監事、村嶋幹事、稲垣幹事を選出する。

4) 日本看護協会会長との面談報告

5月6日に石垣会長、中西監事、小西監事の3名が日本看護協会菊池専務理事と久常会長と面談したが、『21世紀に向けての看護職の教育に関する声明』に基づく話ではできず、先方からは「看護の4年制に反対することは看護の質向上に逆行している」とのことで、討議は平行線であったことが報告された。

5) 平成18年度開設の看護系大学の入会予定校の報告（資料2）

昨年に続き、名寄市立大と秋田看護福祉大が加入しないとの意向を示しているが理由が不明である。そのため、入会しない理由を確認することと、個人的なつながりや面識のある委員から入会を勧めていくこととする。

6) 入会校に関する「日本看護系大学協議会申し合わせ事項」改正について（資料3、別添冊子）

討議の結果、以下の点が確認された。

- ✓ 国際医療福祉大学小田原校が入会を希望しているが、1大学2校加入になるため、会則の申し合わせ事項を「同一大学が複数の学士教育課程を持ち、その教育体制に関する意思決定が独立してなされている場合においては別個に入会資格を有するものとする。」に修正する。
- ✓ 翌日の総会にて修正案について審議した上で、国際医療福祉大学小田原校の入会を認めることとする。
- ✓ 原則は一校一票であり、各委員会の委員の選出にあたっては同じ大学から選出しない。

7) 平成18年度事業活動計画について

常設委員会

(1) 専門看護師教育課程認定委員会（資料4）

在宅看護分野の独立に伴い、地域看護分野の前倒し申請を認めるか否かについて審議され、以下の点が確認された。

- ✓ 今年は更新に基準が決まっておらず前倒し処置は取れないため、在宅の申請だけとする。
- ✓ 現時点で在宅と地域の両方の申請を希望するのであれば、審査費用は5万円であることを伝える。
- ✓ 在宅申請の半額期間は18,19年度のみで、それ以外は新規申請となる。
- ✓ 「再申請」と「切り替え申請」という言葉が使われているため、統一する。

(2) 高等教育行政対策委員会（資料5）

看護系大学協議会の法人化に関して審議の結果、以下のことが確認された。

- ✓ 事業計画として考えると、法人化は役員会の仕事であるため、役員会の中に臨時委員会を立ち上げるという方向性で進める。
- ✓ そのため、高等教育行政委員会の事業計画からは法人化に関する計画を削除する。

また、会員校の増加に伴い、副会長を強化し二人体制でやっていくための、規約改正に

についての検討を、来年度に向けた検討事項として提案していくことが確認された。

(3) ファカルティ・ディベロップメント (FD) 委員会 (資料 6)

(4) 看護学教育研究倫理検討委員会 (資料 7)

(5) 広報・出版委員会 (資料 8)

臨時委員会

(6) 看護実践能力検討委員会 (資料 9)

科研費プロジェクトから予算がつくため、委員会メンバーの交通費の予算をその他の委員会に回すことができるとの報告があった。

(7) 看護管理コース教育検討委員会 (資料 10)

(8) 高度実践看護師制度推進委員会 (資料 11)

(9) 看護教育評価機関検討委員会 (資料 12)

委員会メンバーの所属の変更に伴い、島内委員と中西監事の 2 名が同じ国際医療福祉大学となるため、どちらかに委員を降りてもらい、新たな委員を選出することが確認された。

(10) 保健師教育検討委員会 (資料 13)

委員会メンバーの選出について、最後の 1 名を公募にて選出することが承認された。

新規臨時委員会

(11) 助産師教育検討委員会 (資料 14)

委員会メンバー 2 名程度を募集することを総会で伝え、委員の選出について次回の役員会で諮ることが承認された。

8) 平成 18 年度予算案について (資料 15)

9) 平成 18 年度総会の運営について (資料 16、17)

10) その他 (資料 18)

会計より、交通費支給の際して、実費の根拠資料として領収書の提出が提案され、平成 18 年度より「タクシーおよび航空運賃に関して」領収書を提出することが承認され、あわせて支払い基準を修正した。

第3回 役員会

日 時：平成 18 年 9 月 23 日

場 所：学会会館（神田錦町）3 階 302

出席者：（役 員）石垣，草間，井上，井部，小西，中西，中山，前原，南，村嶋
（事務局）真嶋，酒井，石川

欠席者：（役 員）稲垣 （敬称略 ，アイウエオ順）

【報告事項】

1) 議事要旨案確認

議事要旨確認がなされた。議事録HP掲載用の内容が承認された。

2) 総会議事要旨

総会で出された質疑応答についてもHPに掲載されていることが確認された。

3) 次期会長校選出結果

次期役員校の互選により，会長井部氏，副会長野嶋氏となった。

4) 看護学教育を巡る最近の動向

- ・ 9月4日に厚生労働省の検討会のまとめは12月を目指している。
- ・ 感染看護CNSについて分野特定の報告があったが，感染看護分野では修了者がいない。認定者数の増加の検討という要請できているので，このことを認定委員会としてどう受けていくかを議論すべきである。次回議論する
- ・ 助産師教育の件で，医師会から助産師実習はさせないという通達がきていた県があった。これに対応するとしたら看護協会が行うべきである。
- ・ 日本学術会議の報告
看護学からは連携会員が11人選出され，会員入れて15人となった。会員氏名は以下の通り。石垣 和子，井部 俊子，内布 敦子，太田 喜久子，片田 範子，金川 克子，川口 孝泰，草間 朋子，小西 美智子，小松 浩子，高木 廣文，正木 治恵，山本 あい子，横尾 京子，野嶋佐由美

【委員会報告および議事】

1) 専門看護師教育課程認定委員会

- ・ 専門看護師教育課程認定更新システムと手続き検討の経過報告（井上）
があり，審議事項として①更新書類は新規申請に準じ，変更箇所を赤字で修正する，②審査要項の見直しは5年ごととすること，③認定更新の間で教育課程の見直しをするようにシステム化したいということの3点が提示された。この点に関しては了承が得られた。
- ・ 認定審査料の値上げについて（井上）
新規申請費用，更新申請費用とも全体的なバランスを考慮して値上げの方向を模索するが，その際に値上げの根拠を提示すること，大学の専門看護師養成の実績を加味して更新審査費用を設定することなどを委員会に持ち帰って検討することになった。値上げに関しては早めに周知すること，小刻みに高頻度での値上げは好ましくないことなどが意見として出された。
- ・ CNS事務局の開設について（井上）
事務局作業が膨大となり，申請書類の置き場所がない状況である。事務局の作業もたいへんであるため事務所が欲しいという点についても審議をお願いしたい。申請作業に伴うクレーム対応が非常に多い。クレーム対応で教員が仕事できない状況もあるという説明がなされ，簡便にやれるものは簡便にやっただけ楽にやれるようにして欲しいと，石垣会長より継続検討事項となった。

2) 高等教育行政委員会

- ・ 助教の位置づけと大学設置基準について（草間）
大学教員を増やすことを努力すること，看護学教育における助教の必要性は他の分野では直面していない状況であるため提案していくことが合意された。
- ・ 看護師助産師教育の困難点について実態調査の提案をしたい。

以前にも同様の調査を行ったという指摘をふまえ、実態調査は加盟校の意見を反映しながら、連携をとって行っていくことが合意された。

3) FD委員会

中西委員より、活動計画 1 についての今年度の計画に則って行われる講演会およびシンポジウムの紹介があった。また活動計画 2 について昨年度各大学のFDの実態を調査したが公表されていなかった状況があるため、活用の方法を考えていく。活動計画 3 については GP 獲得大学の詳細な調査と報告を行う予定であったが進捗がないため今年度は行わない可能性もある。

4) 倫理委員会

- ・ 稲垣委員欠席のため審議は保留され情報交換を行った。主な内容として、実習やアルバイトにおけるハラスメント対策に関する考え方の提示について、数々の意見がでたことを倫理委員会に伝えていくことになった。

5) 広報出版委員会

石垣委員より出版物の準備および英文ホームページが報告された。

6) 看護実践能力検討委員会

- ・ 報告会の時期（1月6日）と場所（日本学士会館）が承認された。報告会は、大卒看護師の肯定的な面を伝えていく会であり、広報委員会とも連携して良い会にしたい。また大卒看護師の実態については報告書を作成してほしい希望がだされた。最後に中山委員から協力者を1名追加する報告があった。また本委員会の方向性は継続審議となった。

7) 看護管理コース教育検討委員会

井部委員より以下の進捗状況が報告され、情報交換を行った。

- ・ 看護管理に関して、委員が所属する大学院のカリキュラムを分析して共通要素をだしている。また修士課程で看護管理を教えるところが少ない。認定看護管理者が修士で学位がとれるようにしてはどうかという意見もあった。また看護管理を教授できるような教員の不足もある。また看護管理者は CNS になじまないという理由から別委員会として位置づけてきた経緯が南委員から説明された。

8) 高度実践看護師推進委員会

南委員より以下の報告と審議事項の提示がなされ質疑応答が行われた。

- ・ 森氏（千葉大学）が委員として加わった。
- ・ 検討事項として①麻酔看護師②助産師問題③裁量権をもった小児科専門看護師を増やすか、ジェネラルなタイプで僻地医療をできる CNS にしたほうがいいのかについて考えたいという3点が南委員より提示された。ナースプラクティショナー育成に積極的に取り組む方向性が確認され、国家資格としていくことの検討の要望が出された。資格制度に関しては看護界がバラバラにならないような工夫が是非とも必要であることが合意された。次年度以降も継続して検討していくことが合意された。

9) 看護学教育評価機関検討委員会

村嶋委員より「専門分野別学士課程・大学院の第三者評価基準案」の説明があり、意見をフィードバックすることになった。

10) 保健師教育検討委員会

小西委員より検討のスタートラインは学士課程における保健師教育をどこまで保証するかであることが報告され、その後全体会議で内容を検討することに合意が得られた。

11) 助産師教育検討委員会

前原委員より、応募委員として高橋真理氏（北里大）、田中満由美氏（山口大）が加わったこと、計画案について報告があり、承認された。

12) 起草委員会

石垣会長より新声明骨子案の説明があり、12月9日に案の審議を行うことが合意された。また今後の日程について委員より確認され、了解された。また新声明骨子案の位置づけについて確認され、大学基準として設定しているものであり、拘束力はない。しかし質の担保という教育の責任をとれるかどうか、各大学が大学自治のもとに判断をすることである、ということが確認された。またタイムリーに声明を出していくことの重要性について合意された。

13) その他の検討事項 看護大学校の加入について

- 石垣会長より，国立看護大学校の JAMPU 加入について話題提供された．防衛医科大学も 4 年制大学となるため，慎重に検討することが合意された．加入には様々な意見があったが，看護の力を結集していくための方策として考えていくことが話し合われた．

平成 18 年度日本看護系大学協議会 議事要旨

第 4 回 役員会

日 時：平成 18 年 12 月 9 日

場所：学術総合センター

出席者：（役員）石垣、稲垣 井上、井部、小西、中西、中山、前原、南、村嶋
（事務局）石川、黒田、眞嶋 記録 眞嶋

欠席者：（役員）草間 (敬称略、アイウエオ順)

【配布資料】

資料 1-1 平成 18 年度第 3 回役員会議事要旨(案)

資料 1-2 平成 18 年度第 3 回役員会議事メモ

資料 2 平成 18 年度事業活動経過報告 専門看護師教育課程認定委員会

資料 3 平成 18 年度事業活動経過報告 高等教育行政対策委員会

資料 4 平成 18 年度事業活動経過報告 ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会

資料 5 平成 18 年度事業活動経過報告 看護学教育研究倫理検討委員会

資料 6 平成 18 年度事業活動経過報告 広報・出版委員会

資料 7 平成 18 年度事業活動経過報告 看護実践能力検討委員会

資料 8 平成 18 年度事業活動経過報告 看護管理コース教育検討委員会

資料 9 平成 18 年度事業活動経過報告 高度実践看護師制度推進委員会

資料 10 平成 18 年度事業活動経過報告 看護学教育評価機関検討委員会

資料 11 平成 18 年度事業活動経過報告 保健師教育検討委員会

資料 12 平成 18 年度事業活動経過報告 助産師教育検討委員会

資料 13 日本看護系大学協議会新声明（起草委員会）

資料 14 看護大学校の日本看護系大学協議会加盟について

【報告事項】

議事要旨確認

資料 1-1（簡易版 HP 掲載）、資料 1-2（議事メモ；役員おぼえ）にそって議事要旨の誤字、脱字が確認され、HP 掲載用の内容が承認された。

【委員会報告および議事】

1) 専門看護師教育課程認定委員会（資料 2）

- ・同一の教員から異なる 2 つの専攻課程申請があり、専門看護師教育の専門性の観点から検討し、最終的にはこれを認めないこととしたという報告があり承認された。
- ・課程認定から 10 年経た認定の更新のための基本方針の検討報告があり、審議後、最終案を次回の役員会に提出することとなった。
- ・今後の専門看護師認証機関のあり方について意見交換が行われた。

2) 高等教育行政対策委員会 資料 3

- ・助教制度について文科省に要望を出し、ホームページに掲載されたことについて報告があった。

3) ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会 資料 4

- ・講演会「看護系大学の使命と座標軸」、（参加者 84 名）や報告書の出版について報告があった。

4) 看護学教育研究倫理検討委員会 資料 5

- ・実習と学内の演習でのハラスメントの問題や各大学の対策について検討していることが報告された。役員より、演習中、実習中のハラスメントも倫理指針の中で取り上げて欲しいとの要望があり、本委員会でも考慮に入れて検討していることが伝えられた。

5) 広報・出版委員会 資料 6

- ・広報出版委員会でシンポジウムを開催し、JUNPU 出版物にその記録を載せることを計

画していることが報告された。

6) 看護実践能力検討委員会 資料7

- ・資料を基に、現在行われている調査（「看護実践能力育成の充実に向けた大学卒業時の到達目標」に関する調査）の途中経過、及び計画しているシンポジウムが報告された。

7) 看護管理コース教育検討委員会 資料8

- ・専門看護管理者の教育は将来的には、看護系大学協議会による認定を受けることを目標とし、専門看護管理者のコンピテンシーの実質的な内容が分かるような教育体系図を検討しているとの報告が行われた。

8) 高度実践看護師制度推進委員会 資料9

- ・高度実践看護師は、現在の CNS の役割とどのようなところが違うのかについて検討している。高度実践看護師のコアコンピテンシーと役割について小児、がん、僻地医療の3分野に別れ討議し、報告書をまとめる予定であることが報告された。

9) 看護学教育評価機関検討委員会 資料10、資料10-1,10-2

- ・学部と大学院の評価の項目ができてきたので、委員の大学での相互評価を試行し、改訂作業を進める予定であることが報告された。

10) 保健師教育検討委員会 資料11

- ・保健師教育の現状に関する検討会の報告が行われ、実習場の不足の問題について討議され、具体的な教育システムについては今後検討することとなった。

11) 助産師教育権等委員会 資料12

- ・諮問事項は、助産師教育を4年間で教育することの課題と看護系大学協議会で行うサポートの検討であり、現在は現状を検討しているとの報告があった。

12) 事務局整備について

- ・専門の事務所について、法律、予算、スペース等今後検討する予定であることが報告された。

13) 看護大学校の日本看護系大学協議会加盟について 資料14

- ・今後引き続き情報収集をし、検討していくこととなった。

14) 日本看護系大学協議会新声明について（起草委員会） 資料13

資料に基づく報告があり、意見交換が行われた。最終的には更に検討を進め、次回の役員会で検討することとなった。

閉会

次回役員会日程

日時：平成19年2月4日(日) 13:00～17:00

場所：学士会館（神田錦町）3階 307

第5回 役員会

日 時：平成19年2月4日（日）13：00～17：00

場 所：学士会館（神田錦町）3階 307

出席者：（役員）石垣，草間，井上，井部，小西，中西，中山，前原，南，村嶋
（事務局）北池，黒田，石井

欠席者：（役員）稲垣（敬称略,アイウエオ順）

【配布資料】

- 資料1-1 平成18年度第4回役員会議事要旨（案）
- 資料1-2 平成18年度第4回役員会議事概要（案）
- 資料2 平成18年度予算執行状況
- 資料3 平成18年度事業活動報告 専門看護師教育課程認定委員会
- 資料4 平成18年度事業活動報告 高等教育行政対策委員会
- 資料5 平成18年度事業活動報告 ファカルティ・ディベロップメント委員会
- 資料6 平成18年度事業活動報告 看護学教育研究倫理検討委員会
- 資料7 平成18年度事業活動報告 広報・出版委員会
- 資料8 平成18年度事業活動報告 看護実践能力検討委員会
- 資料9 平成18年度事業活動報告 看護管理コース教育検討委員会
- 資料10 平成18年度事業活動報告 高度実践看護師制度推進委員会
- 資料11 平成18年度事業活動報告 看護学教育評価機関検討委員会
- 資料12 平成18年度事業活動報告 保健師教育検討委員会
- 資料13 平成18年度事業活動報告 助産師教育検討委員会
- 資料14 21世紀の看護系大学・大学院のあり方に関する覚え書き（案）
- 資料15 看護大学校の加盟について
- 資料16 日本-韓国のジョイントワークショップに関する提案

【報告事項】

- 1) 議事要旨案確認
議事要旨（案）及び議事概要（案）が確認され、了承された。
- 2) 保健師教育について
北海道保健福祉部長名で「道立保健所及び市町村における保健師課程学生の実習受け入れについて」が提示されたことが報告され、実情を確認する質問書を提出することになった。
- 3) JANPU事務局について
事務局の設置と事務員の常駐を検討した結果、当面は従来通り会長校に事務局をおくこととし、次期役員会で継続審議とすることが報告された。
- 4) 予算執行状況について
各委員会の予算執行状況が報告された。
- 5) その他
文部科学省で「大学・短期大学における看護学教育の充実に関する調査協力者会議」が開催されることが報告された。

【委員会報告および議事】

- 1) 平成18年度事業活動報告
 - ① 専門看護師教育課程認定委員会
専門看護師教育課程認定規程及び細則の改正が提案され、了承された。
「成人看護（慢性）Adult Nursing (Chronic)」専攻分野の名称の変更が提案され、総会に向けて継続審議とすることになった。
 - ② 高等教育行政委員会
保健師・助産師教育に関する質問紙調査を実施し集計中であることが報告され、保健師・助産師教育検討委員会の活動との齟齬が内容に留意し、協議会としての見解がわかるようにまとめることが合意された。

- ③ ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会
- ④ 看護学教育研究倫理検討委員会
- ⑤ 広報・出版委員会

JANPU 出版物の副題が提案され、石垣会長と中西委員で再検討することになった。

- ⑥ 看護実践能力検討委員会

委員会の目的は達成されたと評価されることから、委員会の終結が提案され了承された。

- ⑦ 看護管理コース教育検討委員会
- ⑧ 高度実践看護師制度推進委員会

次年度以降、看護管理コース教育検討委員会と統合して継続することが提案され、了承された。

- ⑨ 看護学教育評価機関検討委員会

学士課程、大学院の評価基準及び相互評価の体制について、経費の問題等の検討を含め、次年度以降も継続して検討することが提案され、了承された。

- ⑩ 保健師教育検討委員会

現時点での意見の集約ができたことから、委員会の終結が提案され、了承された。

- ⑪ 助産師教育検討委員会

卒後研修制度化を検討する委員会の立ち上げが提案され、保健師と助産師を併せて行うことと他の新人研修事業と関連させていくことで了承された。

- 2) 起草について

石垣会長から「21世紀の看護系大学・大学院のあり方に関する覚え書き(案)」が提示され、意見交換を行った。最終案は、石垣会長、草間副会長がまとめることになった。

- 3) 看護大学校の加盟について

国立看護大学校の協議会への加盟が合意された。これに伴い、申し合わせの改正を総会に諮ることとなり、改正案は会長がまとめることになった。

- 4) 韓国とのジョイントワークショップについて

Global Korean Nursing Foundation(GKFN)と共催でジョイントワークショップを開催することが提案され、了承された。

- 5) その他

・EAFONS 次期理事として、村嶋理事を推薦することが了承された。